



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 株式会社マルイチ産商 上場取引所 名
コード番号 8228 URL http://www.maruichi.com/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 柏木 康全
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 コーポレート戦略本部長 (氏名) 仁科 圭右 TEL 026-285-4101
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	195,029	2.5	1,602	△20.1	2,018	△18.3	1,207	△22.3
2023年3月期第3四半期	190,308	4.1	2,005	13.2	2,471	12.8	1,553	10.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,594百万円 (△11.6%) 2023年3月期第3四半期 1,803百万円 (37.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	54.58	—
2023年3月期第3四半期	70.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	78,208	25,464	31.9
2023年3月期	55,376	24,548	43.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 24,928百万円 2023年3月期 23,905百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	3.00	—	17.00	20.00
2024年3月期	—	10.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	1.3	1,700	0.9	2,150	△5.1	1,200	△4.8	54.29

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	23,121,000株	2023年3月期	23,121,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	989,409株	2023年3月期	1,017,597株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	22,122,198株	2023年3月期3Q	22,100,981株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行による行動制限の緩和により社会経済活動が正常化に向かう一方、長期化するウクライナ情勢に加え中東情勢の緊迫化、エネルギーコストや原材料価格の高止まりと円安の進行に伴う物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。食品流通業界におきましては、相次ぐ値上げの影響による消費マインドの低迷や、各種コストのさらなる上昇など、依然として厳しい経営環境が継続しております。

こうした環境の中、当社グループは2030年度をゴールとする中長期的な経営ビジョンに「地域のスペシャルパートナー」を掲げ、当社グループの独自機能の提供とステークホルダーとの協業を通じて、日本全国の地域における食品流通の問題・課題を共に解決し、共に成長することを目指してまいります。ビジョンの達成に向け、2025年度を目標年度とする「中期経営計画2025」を策定し、3つの事業領域において必要とされる存在になることを到達すべきステージと位置付け、企業価値の向上を目指しております。経営戦略としまして「多面的・多角的な事業インフラの拡充」「信州事業の再強化・グループ最適化」「非効率事業・資産の見直し」「業務構造改革の推進」「サステナブル経営の取組み」の5つを掲げ、各施策を推進しております。また、経営戦略の推進を支えとする組織運営方針に「エンゲージメント経営の実践」「連結経営の推進」「ガバナンス体制の強化」を掲げ、具現化に向けて取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は商品の仕入価格上昇に伴う販売単価の上昇や、年末年始における堅調な内食需要と、外食・観光マーケットの回復等により1,950億29百万円（前年同期比2.5%増）となりました。利益面につきましては、水産物や畜産物の相場高や相次ぐ商品の値上げが継続する中、節電活動に取り組むなどコスト削減を図りましたが、物価高に伴う消費者の低価格志向に加え、物流費等の上昇により収益が低下したことから、営業利益16億2百万円（前年同期比20.1%減）、経常利益20億18百万円（同18.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益12億7百万円（同22.3%減）となりました。

[セグメント別の概況]

※ 各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

<水産事業セグメント>

水産部門は国内天然魚の水揚量減少と小型化傾向に対し、産地駐在による商品調達力の強化や販路開拓による販売シェアの拡大を進めております。また、国内養殖魚の販売拡大に向け、川上領域への戦略投資等による養殖事業体制の強化を推進しております。デイリー部門はアライアンス戦略による販売エリアの拡大と、ドラッグストア等への対応強化により収益の安定化を図っております。フードサービス部門は多様化する小売店頭及び業務用マーケットからのニーズに対し、水産及び畜産原料の惣菜商品の強化を進めております。

売上高につきましては、相場高に伴う販売単価の上昇と業務筋の需要回復もあり1,139億58百万円（前年同期比2.7%増）となりました。利益面につきましては、一部輸入冷凍マグロの急激な相場下落に伴う一過性の損失発生等もあり、営業利益は5億6百万円（同57.9%減）となりました。

<一般食品事業セグメント>

商品の値上げが続き、消費者の生活防衛意識が強まることで買上点数が減少するなど、厳しい事業環境が継続する中、長野・山梨エリアにおける卸売機能強化と自社開発商品の販路拡大による、より強固な事業構造の構築を進めております。

売上高につきましては、節約志向による調味料等の最寄り品の販売鈍化等の影響もあり221億80百万円（前年同期比0.1%減）となりました。利益面につきましては、販売管理費は増加したものの、売上総利益の増加もあり、営業損失は91百万円（前年同期は1億70百万円の営業損失）となりました。

<畜産事業セグメント>

飼料価格の高騰など生産コスト上昇に伴う国産畜肉の高値傾向と、円安の影響による輸入畜肉の高止まりが継続する中、当社グループの商品調達力と流通加工機能を活かした販売シェアの拡大と、食肉加工施設への重点投資による生産ラインのさらなる強化を推進しております。

売上高につきましては、相場高に伴う販売単価の上昇と、鶏肉を中心に販売が堅調に推移したことから320億86百万円（前年同期比1.2%増）となりました。利益面につきましては、調達・販売コストの上昇など販売管理費の増加により、営業利益は3億3百万円（同16.2%減）となりました。

<丸水長野県水グループセグメント>

グループ内の経営資源の集約化による信州事業の再強化とグループ最適化の実現を目指し、当社と(株)丸水長野県

水との2024年度を目途とする本質的な統合に向けた検討を進めております。

売上高につきましては、各事業の販売が堅調に推移したことから260億18百万円（前年同期比5.2%増）となりました。利益面につきましては、売上高の増加に伴う売上総利益の増加と、年金資産運用における退職給付費用の一時的な減少により、営業利益は7億41百万円（同45.2%増）となりました。

<その他（物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業）>

当社と子会社マルイチ・ロジスティクス・サービス(株)は、物流2024年問題の解消に向け、運送会社との3社一体による物流事業の安定化と業務改善への取組みが評価され、昨年11月に厚生労働省長野労働局より「令和5年度ベストプラクティス企業」に選定されました。

業績につきましては、売上高は7億85百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は1億42百万円（同44.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は782億8百万円となり、前連結会計年度末と比較して228億32百万円の増加となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が174億39百万円、商品及び製品が25億65百万円増加したことによります。

負債は527億43百万円となり、前連結会計年度末と比較して219億15百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が207億5百万円増加したことによります。

純資産合計は254億64百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億16百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の43.2%から31.9%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点では2023年5月11日に発表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,767	8,127
受取手形及び売掛金	19,137	36,576
商品及び製品	7,683	10,249
仕掛品	28	596
原材料及び貯蔵品	240	228
その他	2,462	3,187
貸倒引当金	△22	△41
流動資産合計	37,296	58,923
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,671	2,969
土地	6,539	6,539
その他(純額)	1,210	1,276
有形固定資産合計	10,422	10,785
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	2,477	2,766
その他	204	227
無形固定資産合計	2,682	2,993
投資その他の資産		
投資有価証券	2,921	3,384
退職給付に係る資産	208	302
その他	1,968	2,094
貸倒引当金	△124	△275
投資その他の資産合計	4,974	5,506
固定資産合計	18,079	19,284
資産合計	55,376	78,208
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,726	43,432
短期借入金	1,200	1,960
1年内返済予定の長期借入金	289	127
未払法人税等	480	202
賞与引当金	609	261
その他	3,741	5,058
流動負債合計	29,048	51,043
固定負債		
長期借入金	42	90
役員株式給付引当金	84	77
債務保証損失引当金	44	44
退職給付に係る負債	666	615
資産除去債務	108	111
その他	833	760
固定負債合計	1,779	1,699
負債合計	30,827	52,743

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,388	3,390
利益剰余金	17,484	18,092
自己株式	△1,097	△1,069
株主資本合計	23,495	24,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	601	964
退職給付に係る調整累計額	△191	△169
その他の包括利益累計額合計	409	795
非支配株主持分	643	536
純資産合計	24,548	25,464
負債純資産合計	55,376	78,208

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	190,308	195,029
売上原価	174,425	179,008
売上総利益	15,883	16,021
販売費及び一般管理費	13,877	14,418
営業利益	2,005	1,602
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	119	124
受取賃貸料	154	156
その他	208	181
営業外収益合計	483	464
営業外費用		
支払利息	9	11
持分法による投資損失	—	9
固定資産除却損	4	11
その他	3	15
営業外費用合計	17	48
経常利益	2,471	2,018
特別利益		
負ののれん発生益	—	10
特別利益合計	—	10
特別損失		
減損損失	—	56
段階取得に係る差損	—	7
特別損失合計	—	64
税金等調整前四半期純利益	2,471	1,964
法人税、住民税及び事業税	826	549
法人税等調整額	11	207
法人税等合計	837	756
四半期純利益	1,633	1,208
非支配株主に帰属する四半期純利益	79	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,553	1,207

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,633	1,208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	138	363
退職給付に係る調整額	30	22
その他の包括利益合計	169	385
四半期包括利益	1,803	1,594
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,723	1,592
非支配株主に係る四半期包括利益	79	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	丸水長野 県水グル ープ	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	110,941	22,193	31,698	24,743	189,576	732	190,308	—	190,308
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	110,941	22,193	31,698	24,743	189,576	732	190,308	—	190,308
セグメント間の内部 売上高又は振替高	706	116	1,281	167	2,272	2,460	4,733	△4,733	—
計	111,647	22,310	32,979	24,911	191,849	3,192	195,042	△4,733	190,308
セグメント利益又は 損失(△)	1,204	△170	362	510	1,906	98	2,005	—	2,005

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・冷蔵倉庫事業、
OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	丸水長野 県水グル ープ	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	113,958	22,180	32,086	26,018	194,243	785	195,029	—	195,029
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	113,958	22,180	32,086	26,018	194,243	785	195,029	—	195,029
セグメント間の内部 売上高又は振替高	819	126	1,444	248	2,639	2,443	5,083	△5,083	—
計	114,778	22,307	33,530	26,267	196,883	3,229	200,112	△5,083	195,029
セグメント利益又は 損失(△)	506	△91	303	741	1,460	142	1,602	—	1,602

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・冷蔵倉庫事業、
OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。